

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1)園での生活を通じ思いやりのある子どもに育てます。 2)お子様のご家族の皆様にご喜ばれる価値のある地域密着の保育園を目指しております。 3)地域に必要とされるため徹底したサービスを提供し、豊かな暮らしを提供したい。 4)お子様には、保育士や友だちとのつながりを広げ、身近な人とのかかわりを大切にします。 5)一人ひとりの子どもの気持ちを大切に受け入れを尊重します。
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	子どもの個性・特性・発達を理解し、寄り添える人。子どもが大好きな人。自らの経験に奢ることなく向上心のある人。 一人ひとりを見極め、応じられる保育者であり、保護者との信頼関係・職員同士の協調が出来る者。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	子どもが中心の保育。子どもや保護者に寄り添う保育。 子どもの安全を第一に体を張って子どもを守れること。小さな変化や危険を探知し、未然に防げること。保護者の悩みや、体調にも気づけること。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	当園の、調査時点での在籍数は16名でした。兄弟姉妹で通っている子どもがいましたので14世帯を調査対象とし、10世帯から回答を得ました。		
調査方法	調査票の保護者への配付は園で実施しました。回答は保護者から直接評価機関宛に郵送してもらいました。		
	利用者総数	16	
	利用者家族総数（世帯）	14	
	共通評価項目による調査対象者数	14	
	共通評価項目による調査の有効回答者数	10	
	利用者総数に対する回答者割合（％）	71.4％	

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では、「大変満足」が5名（50.0%）「満足」が4名（40.0%）で9名（90.0%）が満足以上と回答しています。「無回答」が1名でした。意見や要望では「新しい園だったので多少不安もありましたが、先生も優しく、厳しくすべきところは厳しくしており、子どもも楽しく園に通っているおり、この園を選んで本当によかったと思います」「人数が少ないので、目をかけてもらっている気がします」「先生方が子どもの成長を共に喜んでくれ、小さな心配事にも耳を傾けてくれます」「園長先生の目が行き届いていて安心して預けています。先生は細かい成長にも気付いてくれており都度教えてくれ、とても頼りになる存在です」「先生方が明るく丁寧で感じが良いです。いつも細かいところまで見ており、お迎えの時や連絡帳で報告してくださり有難いです」「安心して預けることができます。戸外遊びの頻度を増やし自然と触れることができると良いと思います」「行事がもう少し増えたら嬉しいです」「プリントで持ち物などお知らせ頂く際、もう少し詳しく教えて頂けると有難いです」「園庭が小さくてもあればよいと思います」などの声が聞かれました。今回の調査については、「回答者が特定されないよう配慮してほしい」の声がありました。

利用者調査結果

コメント欄を必ず入力してください

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	10	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択しています。コメントでは、「通い始めてからできることが増えて助かっています」との声がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	10	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				

3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	10	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択しています。コメントでは、「ミルクの量などの提案や相談にのってくれて、配慮されていると感じます」などの声がありました。				
共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	6	3	1	0
回答者の60%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	7	2	0	1
回答者の70%が「はい」を選択しています。コメントは、コメントは、ありませんでした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	7	3	0	0
回答者の70%が「はい」を選択しています。コメントでは、「室内の安全対策は十分取られていると思いますが、散歩時に車の往来のある通りを歩くため、十分とは言えません。（先生方はしっかり見て下さっていますが、外的要因の影響も大きい）」との声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	7	2	1	0
回答者の70%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	10	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	8	1	0	1
回答者の80%が「はい」を選択しています。コメントでは、「トイレに物がごちゃごちゃしているのが気になった」との声がありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	9	0	0	1
回答者の90%が「はい」を選択しています。コメントでは、「朝から元気に笑顔で挨拶してくれるので、とても気持ちがよいです」との声がありました。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	9	0	0	1
回答者の90%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	5	0	0	5
回答者の50%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	9	0	0	1
回答者の90%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	8	0	0	2
回答者の80%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	9	0	0	1
回答者の90%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	5	0	0	5
回答者の50%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	3	1	0	6
回答者の30%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリ１～５、７）

No	共通評価項目		
1	カテゴリ１		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ１（１－１）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 7/7
	評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目 2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目 3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点（〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリ１の講評		カテゴリ１の講評を入力してください
	園の保育理念や園長の思いは、入園案内やホームページでわかりやすく伝えています 保育理念は、思いやりのある子どもを育てるという目標を中心に、地域に必要とされ、地域に豊かな暮らしを提供したいという思いを掲げています。ホームページでは、園での安全な環境を通して子どものあそび、健康、体づくり、こころ、表現の力を育てる目標をわかりやすく伝えています。当園は小人数の保育園であり、近隣の地域のみなさんが対象であるので、理念を言葉で伝えるだけでなく、日頃から愛情豊かに接することや家庭との連携や見学者への対応を丁寧にするなど「寄り添う保育」を進めることで職員や利用者に理念や思いを伝えています。 園長は職員や保護者とのコミュニケーションを大切にして園の土台づくりを進めています 園長の職務は運営規定に明記されています。園は、開園2年目で土台作りの段階にあり園長は職員との日々のコミュニケーションを大切にして保育を進めています。一人ひとりとの面談の回数を多くし、初めて保育に取り組む職員		

がイメージをしやすく具体的に例などを示して伝えています。職員が、悩んでいるときにはすぐに寄り添い対応しています。また、園長は年齢ごとのクラスにも入り、新人職員と共に子どもや保護者に積極的に声がけをして職員が子どもや保護者とコミュニケーションを図れるようリーダーシップを発揮しています。

重要な案件は、職員の意向を確認し園長や設置者が決定しています

園運営に関する案件や行政からの通達への対応は、職員や保護者の意向を確認し園長が決定しています。重要な案件については園長と設置者が協議し決定しています。職員には朝の会やミーティングなどで意見を聞いたり決定内容を説明しています。開所2年目で経験の浅い職員も多く、戸惑いや誤解がないように、職員への回覧はいつ見たかのサインをもらっています。話し合いでは、一対一を避け3人以上で行うなどで透明性の確保と確実な伝達に気を付けてしています。保護者への連絡は掲示や通話・メールアプリでの配信などで伝え漏れのないようにしています。

2

カテゴリー 2

事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー 1 (2-1)

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 6/6

評価項目 1

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点 (〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー 2 (2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 3/5

評価項目 1

事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現

に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点 (〇)

評価	標準項目	
○あり●なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
○あり●なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目 2

着実な計画の実行に取り組んでいる

評点 (〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら	○非該当

	ら取り組んでいる	
	カテゴリー 2 の講評	カテゴリー 2 の講評を入力してください
3	地域のニーズや要望は、園見学者や自治体からの情報で把握しています 当園は駅の近くにあり開園以来多くの見学希望者があります。見学時に、見学者から地域の保護者や子どもの情報・ニーズを把握しています。園長の「寄り添う保育」の姿勢は見学者に対しても同じで、見学者からの質問はよく聞いて時間をかけ一つひとつ丁寧に答えています。見学者への対応の効果もあり、来年度は定員を満たすことができると考えています。業界の情報はwebによる小規模連絡会や区役所からのメールで把握しています。園児事故に関する情報などにはいち早く園の取り組み内容を保護者に伝え不安解消に努めています。	
	5年後の園のあるべき姿を想定した、中長期計画が必要と考えています 5年後の本園のあるべき姿を想定した中長期計画の策定が必要と考えています。当園は開所2年目で園児の定員は19名、現在17名が在籍しています。理念にある地域密着の保育園を目指すには職員の育成、地域の子育て支援や保育環境の整備などを計画的に進めるための中長期の考えが必要です。現在、日々の保育を進めるための体制の構築のほかコロナ禍の長期化、保育士不足、少子化に伴う不透明な外部環境などの課題もあり、損益（収支）計画は策定しましたが、中長期の計画策定は今後の課題と考えています。	
	園長は職員の問いに応えながら職員間の融合を図り園の土台作りを進めています 園長は、日々の保育の中で職員からの問いに応えるなどをおこない、経験の少ない職員を育成し園の土台作りをしています。保育の手順については、開園して2年目なので基本的には区が作成しているマニュアルを活用して保育を進めています。職員は読み合わせなどをおこない理解を深めています。行事では、コロナ禍でしたが区の助言もあり全職員が一丸となって取り組むことができました。また、職員間のコミュニケーションを深めるために報連相の進め方について話し合いをしました。今後も職員と課題を共有し改善を進めたいと考えています。	
	カテゴリー 3	
	経営における社会的責任	
	サブカテゴリー 1 (3-1)	
	社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
	評価項目 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点 (〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる ○非該当
	●あり○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。 ○非該当
	サブカテゴリー 2 (3-2)	
	利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目 1 利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点 (〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている ○非該当
	●あり○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある ○非該当
	評価項目 2	

虐待に対し組織的な防振対策と対応している		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー 3 (3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目 1		
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点 (〇〇)
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目 2		
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点 (〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
●あり○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 3 の講評		カテゴリー 3 の講評を入力してください
職員が守るべき法や規範は、就業規則の服務規律などに規定されています 職員の守るべき法や規範は「就業規則の服務規律」に規定されています。「就業規則の服務の原則」に法令、規則が、「就業規則の服務の心得」には職員に守ってもらいたい内容が記載されています。職員には採用時に設置者または園長から就業規則の説明をしています。今年度は、研修に対する心構え、保護者・子どもへ寄り添う丁寧な対応、職員はいつも見られているという意識、について服務の心得に追記しています。園長は、朝の会や職員会議などのミーティングの場で、職員に問いかけなどもおこない職員の理解が深まる取り組みを進めています。 苦情対応は重要事項説明書の「要望・苦情に関する相談窓口」の項目で伝えています 苦情相談は重要事項説明書の「要望・苦情に関する相談窓口」の項目で、担当者を設置し、面談や電話・園内に設置された投函箱などで受け付けていることを伝えています。第三者委員や区の子ども施設入園課にも相談できることも明示しています。保護者には、入園説明時に説明するほか、保護者会でも伝えています。今年は園独自の「苦情処理聞き取り票」を作成し園内での対応の円滑化を図りました。虐待の発見や兆候が疑われる場合は虐待防止マニュアルに基づき速やかな対応を心がけ、区の子ども支援センターと連携することとしています。 園長は見学者など地域の人に接し寄り添うことで貢献する園を目指しています ホームページで園の情報を公開しています。地域の認知度を高めるために、卒園児への放課後のあそび場の提供、夏祭りでの地域住民への参加呼び掛けなどを考えていますが、コロナ禍の長期化や職員不足で実施が難しい状況です。一時保育や実習生の受け入れも懸案のままです。見学者への対応も地域との交流の重要な場であり、園長は見学者に寄り添うことを大切に、職員には寄り添って欲しいと常々伝えています。今後コロナ感染症の状況を見ながら公立保育園との交流や他の保育園との交流・研修など地域関係機関との連携を深めていきたいと考えています。		

4	カテゴリー 4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー 1 (4-1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
	評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
	●あり○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
	○あり●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
	●あり○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
	●あり○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
	サブカテゴリー 2 (4-2)		
	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4/4
	評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
●あり○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当	
●あり○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	
●あり○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当	
カテゴリー4の講評		カテゴリー4の講評を入力してください	
子どもたちの安全・安心を最優先にして、リスク対応を進めています 低年齢児が対象の当園では、子どもたちの安心・安全を最優先としてリスク低減に取り組んでいます。うつぶせ寝事故多発の情報は園は0歳児に午睡センサーをすでに導入済ですが、午睡中の更なる見守りを促しました。乳幼児突然死症候群対応のマニュアルも整備しています。散歩時には、人数確認や園児の遊具との接触、特に散歩から帰ってきた時には、子どもは楽しかったことで興奮し転倒やトラブルが発生しやすいので目を離さないようにしています。コロナ対策では、玄関での受け入れ、健康観察カードの記述などは継続して実施しています。 重要事項説明書に非常災害時の対策が明記され避難訓練は毎月実施しています 重要事項説明書に非常災害時の対策を明記しています。毎月の広報誌「ちぐさだより」では避難訓練の実施日を伝えています。9月は不審者訓練と災害を想定した引き渡し訓練を行い保護者には当日、通話・メールアプリで訓練内容を配信しています。園のあるビルは堅固で自然災害に強く、警備会社による園周辺の警備は万全です。保育中の怪我発生時には、朝の会で職員間での話し合いやヒヤリハットの確認などをおこない事故の再発防止を徹底しています。BCPは園ではまだ策定してはいませんが運営上の必要に応じて個別対応マニュアルは順次整えています。			

	個人情報保護マニュアルに情報の利用目的や管理、提供の制限などを明記しています 個人情報保護マニュアルには情報の収集から廃棄までのルールが記載されています。情報の利用目的や情報の管理、第三者への提供の制限などが明記されています。園で発行する書類などに園児の写真データを使用する場合は個人が特定できない写真のみと定めています。通話・メールアプリの配信では保護者からの個別内容は共有できないようにしています。職員には、入所契約書で園児や保護者に関する情報は契約終了後も含め守秘義務であることを伝えています。園児や保護者の個人情報書類は毎年見直して適切に処分しています。重要な書類は鍵のかかる収納庫に保管し、鍵は園長が管理しています。		
5	カテゴリー 5		
職員と組織の能力向上			
サブカテゴリー 1 (5-1)			
事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 8/12	
評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点 (〇〇)			
評価	標準項目		
●あり○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当	
●あり○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当	
評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 ()			
評価	標準項目		
○あり●なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当	
○あり●なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当	
評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (〇〇)			
評価	標準項目		
●あり○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当	
○あり●なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当	
○あり●なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当	
●あり○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当	
評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (〇〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金・昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当	
●あり○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当	
●あり○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当	
●あり○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当	
サブカテゴリー 2 (5-2)			
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の	

評価項目 1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点 (〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー 5 の講評

カテゴリー 5 の講評を入力してください

職員の採用では、園の考えを理解し一緒に働くことができるかの視点を大切にしています

園では、子どもが好きではなく大好きな人、向上心のある人、保護者との信頼関係がとれ職員同士でも協調できる人を求めています。職員の募集は主にホームページや保育士紹介会社などでおこなっています。入職希望者には実際に子どもたちの様子や職員の関り方などを見てもらっています。採用は書類選考や面接のほか実習をおこなっています。実習では園の考えを伝え同じ職場で働く職員同士が相互に理解し一緒に働けるかの視点を大切にしています。職員の配置は年に3回程おこなう面談やミーティング、日々の保育で職員のスキルや要望を把握し進めています。

職員の育成は、区の実務者研修（web）や園長からのOJT、ミーティングなどで進めています

園は開園して2年目で土台づくりの段階にあります。職員の育成では多くの職員が当園に勤務して1年目であり日々の保育や週・月・年間の進め方を理解し取り組めるよう、OJTやミーティングで職員と話し合い理解を促しています。無理に進めることはせず職員の成長を見ながら取り組むことが大切と考えています。昨年度職員の育成は、区の実務者研修を中心に実施しました。受講後、研修報告やミーティングで内容の共有をしました。園長は中長期的な職員育成についての考えを持っていますが、今は、年度の計画や課題を着実に実行することが大切と考えています。

園では、職員一人ひとりとの会話を通したコミュニケーションを大切にしています

園の目指している姿を実現するためには、園長と職員が同じ方向を向き保育に取り組むことが大切と考え、職員とのコミュニケーションを大切にしています。園は少人数で運営しており、日々の会話による意思疎通や個人面談で一人ひとりと話し合いの場を持つことで、良好なコミュニケーションが生まれ、今回の職員アンケートでは、園長が保育にも入り相談がしやすい、対応が分からない時はすぐ助けを求められるなどの声が寄せられました。行事や研修でも、職員の意欲的な取り組みが見られました。まだ見直しが必要な内容もあり継続した活動が期待されます。

7

カテゴリー 7

事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー 1 (7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目 1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

【課題・目標・背景】

事業所では地域での認知度を高めることが大切と考え、魅力ある園づくりを進めました。地域での入園対象児が減少傾向にあり園児定員の確保や職員の固定化が課題と考え取り組みました。

【取り組み】

昨年度は、見学者に園の魅力を伝えることが大切と考え、ていねいに、明るい対応を進めました。また、保護者や子どもたち一人ひとりに寄りそった保育を進めたことで、新年度に向けては園児全員が持ち上がる事が出来ました。

【取り組みの結果】

昨年度は、職員の入れ替わりがありましたが、職員の採用では、園の考えや方向性をしっかり説明し考えを理解した職員を採用することができました。職員のスキルや能力の向上も大切と考え、職員一人ひとりについて必要な研修に参加させまし

た。

【振り返り・今後の方向性】

見学者へのていねいな対応などをおこなったことにより、入園者のほとんどが実際に見学に来た方でした。新しい職員とのコミュニケーションも多く取り、同じ目線・気持ちを持ち保育を進めることができるようになり、これからも継続したいと考えています。

目標の設定と 取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

【目標の設定と取り組み】

園では、「中長期の見通しについて」で現状を確認し課題を明確にした上で地域・近隣に認知される取り組みについての考えをまとめています。昨年度は、新規園として認知度を高めることが大切と考え、職員の定着と園の考えや保育内容をしっかり理解した職員の採用や育成に取り組みました。また、子どもたちや保護者に寄りそった保育を進めることで魅力ある保育園づくりを進めています。

【取り組みの検証】

新規入園希望者への対応では、見学時のていねいな対応や園の特徴や良い点などを明るく伝えたこともあり在園児数の増加に結びつきました。職員の育成では、区の実務者研修の受講や園長からの日々の保育でのOJT、ミーティングなどで進めています。開園して2年目なので、まだ課題もありますが毎年前進していることが見られました。

【検証結果の反映】

魅力ある園づくりや職員の能力向上の活動は長期的な視点で取り組むことが大切と感じます。毎年の年度計画で取り組むべき課題を明確にし、実行することで成果に結びつくと感じます。これからも継続した取り組みが期待されます。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

【課題・目標・背景】

当園では、子どもたちや保護者と日々の保育を通し、一人ひとりとの関わりを深め寄り添った対応をおこなうことが大切と考え取り組みました。

【取り組み】

夕方のお迎え時には園長などが、保護者一人ひとりに子どもたちが伸び伸びと生活している様子や自分で考えおもちゃで遊んだり本を読んだりしている様子など一日の園での生活内容を丁寧に伝えるなど小規模な保育園の良さを生かした取り組みをおこなっています。昨年度はコロナ禍でしたが保護者との関りが大切と考え、しっかり感染対策をおこない保護者会を実施し保護者の参加率も高く意見や要望も多く出されました。

【取り組みの結果】

年度末の保護者会では新年度アンケートや一年間の振り返りをおこない、「先生たちのたくさんの愛をいただきました」などの声が寄せられました。また、今回の利用者アンケートでも、園の関りを深め寄り添った取り組みに対し「園では、よく目をかけてもらっている」「細かい成長にも気づいて教えてくれる」などの声がありました。

【振り返り・今後の方向性】

保護者からの意見や要望把握は、保護者の満足度の向上のための大切な取り組みで、意向把握は継続して進めたいと考えています

目標の設定と
取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む）
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

【目標の設定と取り組み】

園では、小規模園の特徴を生かし子どもたちの自主性の尊重や保護者一人ひとりとの関りを大切に、ていねいで深みのある保育に積極的に取り組んでいます。昨年度は、保護者とはコロナ禍でしたが十分な感染対策をおこない保護者会を開催するなど直接保護者の意見や要望を聞くことを大切にしています。

【取り組みの検証】

子どもたちの自主性を尊重した保育では、訪問時に子どもたち一人ひとりが自分で考えおもちゃで遊んだり本を読んだりしており、子どもたちが伸び伸びと生活している姿を見ることができました。また、子どもたち一人ひとりが元気で明るく育っていることも感じました。

【検証結果の反映】

園では、少人数のメリットを生かした運営を心がけています。まだ開園して2年目で課題もあると思いますが、子どもの自主性の尊重や保護者との関り方や意見、要望を直接把握するなど園の運営で大切な取り組みをていねいにおこなっています。今後も継続することが期待されます。

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目				
1	サブカテゴリー1				
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4/4			
	評価項目 1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している				
	評点（〇〇〇〇）				
	評価	標準項目			
	●あり○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当		
	●あり○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当		
	●あり○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当		
	●あり○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当		
	サブカテゴリー1の講評 サブカテゴリー1の講評を入力してください				
	ホームページにより、保育方針や給食の写真、行事予定などを発信しています ホームページにアクセスすると、トップページには園の給食やおやつの写真が頻繁に更新されており、年齢別の量や野菜の切り方などを知ってもらえるようになっていきます。また、あそび・健康・体づくり・ところ・表現を柱とした保育方針のほか、子どもたちが毎日笑顔で登園し、保護者が安心して預けられる保育園を目指している事を伝えています。その他にも、先生の紹介や1日の保育スケジュール、年間行事が親しみ安いイラストとともに掲載され、保育園生活をイメージできる内容になっています。 途中入園の申し込み先である区の担当課とは、定期的に園の運営情報を伝えています 区の担当課には空き情報などの運営情報を書面で定期的に提出しています。担当者とは定期的な巡回の時に園の近況や活動内容を伝えるなど連携しています。区の公式ホームページの小規模保育施設一覧からは、園の定員や年間行事、保育・施設の特長等が記載された「施設紹介」が作成されているほか、随時園の募集人数を知る事ができるようになっています。その他、園のホームページからは区の入園案内のページに繋がるようになっており、保育料金や申込方法など、保育園を探す保護者が必要とする情報を得る事ができます。 見学者には園のしおりや献立を配付して、小規模保育所の特長を伝えています 見学者の対応は園長が担当し、事前に日程を調整して個別に対応しています。コロナ禍により、現在は見学時間を夕方に限定しているため、日中の保育の様子を見てもらえないかわりに、夕方の合同保育の様子を見もらうことで縦割り保育の良さを伝えています。見学時には園のしおりや献立を配付して、一人ひとりをよく見れる小規模保育園の特長や、散歩に行く公園のほか、全室床暖房など設備の充実面についても説明しています。また、離乳食の進め方やミルクの飲み具合など、保護者の育児の悩みや不安に応えるように努めています。				
2	サブカテゴリー2				
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6/6			
	評価項目 1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている				
	評点（〇〇〇）				
	評価	標準項目			
	●あり○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当		
	●あり○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当		
	●あり○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当		

評価項目 2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点 (〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー 2 の講評 サブカテゴリー 2 の講評を入力してください		
入園時の個別面談で、設置者や園長が重要事項を説明し、保護者から同意を得ています 4月入園が決定した親子には、入園説明会を実施しています。説明会では契約書や重要事項説明の項目に沿って一つ一つ丁寧に読みあげ、保育料金や契約時間、個人情報の取扱いなどについて説明し、署名捺印にて同意を得ています。外国籍の保護者など状況によっては、別途書面にして渡すなど個々に応じた対応をしています。また、「入園案内」の資料を用いて、園のきまりや持ち物などについて園長が説明しています。入園時面談では、書類一式を持参してもらい、子どもの発達や保護者の意向などを聞きとり、健康記録や児童票に記録しています。 入園時に提出された書類により子どもの情報を収集し、全職員で共有しています 入園時に提出された児童票、入園までの生活状況、健康診断表により、子どもの家庭環境や生活状況、発達過程、健康状態などを詳しく把握しています。また、個々に応じた食事を提供するため、食事に関するアンケートにより、アレルギー除去食材や家庭での離乳食の状況などを把握しています。これらの書類はクラスごとにファイルで保管し、面談を担当した園長からクラス担任へ引継ぎをしています。また、職員は入園説明会で子どもの活動の様子を観察すると共に、入園時の書類に目を通し、新入園児の情報を把握した上で保育を開始しています。 個々に合わせた慣らし保育を設定し、家庭でのやり方で過ごせるように援助しています 入園直後の子どもの負担を軽減するため、初日は1時間から保育を開始し、その後は保護者と相談しながら十分に慣らし期間を設けるようにしています。また、アンケートなど入園時に提出してもらった書類により、家庭での過ごし方や好きな遊び、寝かしつけの方法などを把握し、園でも家庭でのやり方で援助しています。認可保育所への転園や転居等で退園する場合には、保護者の意向や不安を十分聞き取り、いつでも電話等で相談にのることを伝えています。子どもには担任が書いたメッセージカードや記念品などを渡して送り出しています。		
3	サブカテゴリー 3	
個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12/12
評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点 (〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点 (〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当

	る	
●あり○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当
評価項目 3		
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点（○○）
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目 4		
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している		評点（○○）
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリー 3 の講評 サブカテゴリー 3 の講評を入力してください		
子どもの情報は所定の書式に記録し、職員会議等で各家庭の意向や課題を把握しています 一人ひとりの子どもの生活状況や心身状況は健康記録や児童票（発達の記録）、保育日誌に記録しています。また、食物アレルギーをもつ子どもは、毎年、医師の診断書により、個別の取り組みプランを作成して病状や対応方法、食事内容等を確認しています。その他、保護者との個人面談や送迎時の会話などにより、保護者のニーズの把握に努め、毎月の職員会議や日々のミーティングなどで子どもの課題を検討し、指導計画に反映しています。 年齢別の月案・週案・個人案を作成し、連絡帳や園だよりで個々の取組を伝えています 全体的な計画に基づき、年齢別の年間指導計画・月案・週案のほか、年間の保健計画及び食育計画を作成しています。また、食育や子どもの姿、援助と配慮などが記載された全園児の個人案を作成しています。年間指導計画は4つの期ごと、月案・週案は計画を立てる際に、前回の反省・評価をおこない、次の計画作成・見直しに繋げています。指導計画の内容は、園だよりに今月の目標を掲載したり、連絡帳や送迎時の会話などで、子どもたちが今何に取り組んでいるか等を具体的に保護者へ伝えています。 健康記録やミーティングなどにより子どもや保護者の状況を職員間で共有しています 子どもの日々の様子は健康記録やタブレット端末の保育日誌に記録しています。子どもが成長していく姿は0歳児は1ヵ月ごと、1歳以上は2ヵ月ごとに発達の記録に文章で記載するほか、発達の指標の項目ごとにできるようになった月齢に印をつけて把握しています。子どもの状況変化等を職員間で共有するため、受け入れやお迎えを担当した職員は健康記録に担任や保護者からの連絡事項等を記録しています。その他、朝の会で全体の流れを共有したり、各クラス間では毎日ミーティングをして子どもや保護者の状況を共有しています。		
5	サブカテゴリー 5	
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
	評価項目 1	
	子どものプライバシー保護を徹底している	
	評価	標準項目
●あり○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当

●あり○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目 2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点 (○○○)		
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリー 5 の講評 サブカテゴリー 5 の講評を入力してください		
園で撮影した写真などプライバシーに関わる情報は、保護者の意向を確認しています 園では、マニュアルや規定類で個人情報の利用目的などを定めています。入園時に、契約内容や重要事項について説明する際に、子どもや保護者などの個人情報やプライバシーに配慮した取り組みを伝え同意を得ています。入園後も園で撮影した写真などプライバシーに関わる内容をパンフレットやホームページなどで使用する場合には、個人が特定できない解像度に加工し掲載するほか、保護者に再度同意を得ることにしています。羞恥心への配慮では、着替えは一人ずつおこない、子どもたちには「恥ずかしいからね」との声掛けを心がけています。		
保護者との会話などから意向を聞き取り、一人ひとりに寄りそった保育を進めています 子どもや保護者に寄りそった保育を大切に、保護者一人ひとりと向き合うことを心がけています。保護者との面談もコロナ禍でしたが数多くおこないました。日々の送迎時の会話も大切にして、保護者の意見や考えなどをしっかり聞き取り個々の家庭環境や子どもの成長に合わせた支援を進めています。日々の保育では「どうする?」と子どもに問いかけ返事を待つことや、自由に玩具を選んでもらうなど子ども主体の取り組みを心がけています。今回の利用者アンケートでは、子どもの成長を共に喜んでくれる、小さな事にも耳を傾けてくれる、などの声がありました。		
虐待防止では、保護者と接する機会が多い園が重要な役割を担っていると考えています 虐待防止等の対応は、日々の送迎時などで保護者と接する機会が多い園は重要な役割を担っていると考え取り組んでいます。入園時には、重要事項説明書で防止への取り組みや疑いが発生した場合の対応などを説明しています。毎朝の、受け入れ時には視診で整容状態、顔色などを確認するほか「朝ごはん食べた?」などと聞きとることにしています。健診の受診記録も確認し健診を受けていない場合、受診を促すなど未然防止にも取り組んでいます。虐待は、本人の捉え方と周りから見えることに差があることもあり区と緊密に連携し取り組むこととしています。		
6	サブカテゴリー 6	
事業所業務の標準化		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目 1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点 (○○○)		
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目 2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点 (○○)		
評価	標準項目	
●あり○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や	○非該当

区が作成したマニュアルや姉妹園のマニュアルを活用し、保育の標準化に取り組んでいます

子どもたちの安全や健康に関わる内容は、主に区が作成した、食物アレルギー対応マニュアル、危機管理マニュアル、保健衛生マニュアルなどを活用しています。まだ開園して2年目なので一部姉妹園のマニュアルなども使用しています。園には、経験の浅い職員も多く、マニュアルは日々の保育でいつでも確認することができるよう事務室に保管しています。また、園長が日々の保育に入ることも多く、必要に応じ保育の中で職員の行動についてマニュアルの内容を示し伝えるなどOJTもおこない、職員が園長の考えている保育について理解を深めるよう進めています。

毎年、年度末のミーティングでマニュアル・手順書の見直しを進めています

保育の進め方やマニュアルの見直しは年度末のミーティングでおこなっています。園独自のマニュアルや手順書は、防災・安全対策、散歩、火事のと看、地震のと看、不審者対応、水あそび、沐浴など徐々に整備されてきていますが、経験の浅い職員も多くマニュアルや手順書の整備が急がれます。園長の知見を生かしながら、職員が日々の保育で感じたことをマニュアルや手順書にすることで、職員が本当に使えるマニュアルが出来ると感じます。現在はまだ土台づくりの段階ですが、次の段階で手づくりの園独自のマニュアル作成に取り組むことが期待されます。

タブレット端末なども活用し、業務の標準化と効率化に取り組んでいます

園では、タブレット端末を導入し業務の標準化や効率化に取り組んでいます。現在は、園児台帳や出欠連絡、園児管理、日々の記録・月案・週案などで活用を開始しています。保育内容の見直しや標準化については、年度末の保護者会での意見や要望、区からの指導内容を園長が確認し職員ミーティング等で話し合い取り組んでいます。保護者とは、コミュニケーションアプリも導入し、避難訓練や緊急時の連絡に活用しています。このような標準化や効率化の取り組みは日々の保育で職員が余裕を持った保育に取り組むためにも大切と考え積極的に進めています。

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー 6-4）

サブカテゴリー 4			
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 34/34	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている		評点（〇〇〇〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
		評価項目 1 の講評	評価項目 1 の講評を入力してください
保護者との対話を大切に子どもの発達を園と家庭の両面から把握することに努めています 入園前には契約時の提出書類をもとに、発達過程や生活状況などを把握して保育を開始しています。入園後は、発達の経過を児童票の「発達の記録」に定期的に記録し職員間で共有しています。また、送迎時には保護者とコミュニケーションを密にとり、家庭での様子を聞き取るなどして、成長していく子どもの姿を把握しています。園では、子どもの状況はクラスを担当する職員だけでなく、全職員が把握して援助にあたり、個々の性格や特性を踏まえ、職員間でよく話し合って保育を進めています。 年齢に応じた環境を工夫し、統合保育の中で個々が安心できる方法で援助しています 0歳児は担当の保育士が継続的に関わり、安心して生活できるようにしています。また遊びと食事のスペースを分け、十分な食事と睡眠がとれるよう環境を整えています。1・2歳時は保育室を合同にして広いスペースを確保し、ボール遊びなど室内でも思い切り身体を動かして遊べるようにしています。園では障害児や配慮が必要な子の保育にあたっては、特別扱いすることなく集団の中で保育をしています。例えばみんなで活動する場面では、できないだろうと決めつけず、保育士と手を繋いで行動を共にする等その子が安心できる方法で援助しています。 異年齢で活動する時間を多く作り、意欲を引き出したり、思やる気持ちを育てています 園では異年齢で活動する機会を日常的に設けており、上の子を見る事で下の子の挑戦したい気持ちや意欲を引き出したり、上の子が下の子に優しく接したりする中で思いやりの心が育つよう援助しています。月齢の低い子が多いため玩具の取り合いにならないよう、種類の異なるブロックなど子どもの興味に応じた玩具を複数用意して未然に防げるようにしています。トラブルが起こりそうな時には「お口で言おうね」と保育者が声をかけて言葉で伝える事ができるように導いたり、双方の気持ちを丁寧に聞く対応をしています。			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点（〇〇〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
	●あり○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当

	●あり○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当																					
	●あり○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当																					
		評価項目2の講評	評価項目2の講評を入力してください																					
登・降園時には、保護者との会話を大切に子どもの様子を伝えあっています 登園時には子どもの様子をよく観察するとともに、保護者から体調面などについて聞き取りをしています。咳・鼻水が出る、あまり眠れていない、熱が高めなど気になる事がある際には、健康記録の備考欄に記載しその後もこまめに検温するなどして注意深く観察しています。降園時はその日の子どもの様子を連絡帳に記載するとともに、担任もしくは園長が一人ひとりの保護者に口頭でも子どもの様子を伝えるようにしています。今回の第三者評価利用者アンケートには、日々の様子をわかりやすく伝えてくれる、とてもよく見てくれている等の意見が出ていました。 子どもの発達に合わせ、生活や遊びの中で自然と生活習慣が身につくようにしています 食事や着替え、トイレトレーニングなど基本的な生活習慣の自立については、家庭での意向を確認しながら、生活や遊びの中で自然と身につくよう援助しています。例えば、人形に食べ物を食べさせたりするままと遊びの中で食事のルールやマナーを覚えたり、散歩に出かける準備の中で毎日少しずつ靴下をはけるようになっていきます。評価者訪問時には、子ども達がコップを両手でしっかり持ち、肘をテーブルにつかずに姿勢よくお茶をのむ場面や、お茶を飲んだ後にティッシュで口を拭く事が身につけている2歳児の姿を見ることができました。 子どもの様子や家庭での生活リズムに応じて十分な休息がとれるようにしています 0歳児は午前と午後、1～2歳児は午後に午睡をしています。子どもたちの様子を見て適宜休息がとれるようにしたり、眠くない時には離れた場所で遊んだりできるようにしています。また、登園時の様子で眠そうにしている時にはしばらくは抱っこで対応したり、連休明けで疲れが残っている時には室内でゆっくり過ごせるような活動を取り入れるなど個々に応じた対応をしています。0歳児は、1歳児クラスの活動に向けて午前寝をなくしていくため、個々の発達を見ながら徐々に体力づくりをメインにしたデイリープログラムへ見直していきます。																								
3	評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点（○○○○○○） <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり○なし</td> <td>1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり○なし</td> <td>2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり○なし</td> <td>3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり○なし</td> <td>4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり○なし</td> <td>5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり○なし</td> <td>6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table> 評価項目3の講評 評価項目3の講評を入力してください 子ども達の興味や関心に合わせて玩具を配置し、主体的に遊べる環境をつくっています 各保育室の玩具は、子どもの手の届く範囲に設置し、おもちゃ箱から自由に好きなおもちゃを取り出して遊べるようにしています。玩具はその時の子どもの興味や関心、季節等に応じて適宜入れ替えています。その他にも、お絵描きやブロックなどコーナーをつくり、好きな遊びに集中できるようにしています。また、人との関わりや相手を思いやる気持ちを育てるため、散歩の時には保育者が手本となって挨拶をするほか、絵本の内容で「こんにちは」と挨拶するものや、傷がある子を見舞う物語を通して子ども達に語りかけています。			評価	標準項目		●あり○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当	●あり○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当	●あり○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当	●あり○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当	●あり○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当	●あり○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価	標準項目																							
●あり○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当																						
●あり○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当																						
●あり○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当																						
●あり○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当																						
●あり○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当																						
●あり○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当																						

様々な活動を通して、表現する事を楽しんだり言葉に興味を持てるよう援助しています

朝の会では子どもたちの好きな歌や音楽に合わせ、全園児で踊ったり歌ったりしています。評価者訪問時には、ジャンプやハイハイのほか、手をたたいたり、走ったりと音楽に合わせ体全体で表現することを楽しんでいる姿を見る事ができました。その他にも、クレヨンや絵具で絵を描いたり、粘土や片栗粉で感触遊びをするなど様々な活動を通して表現することを楽しんでいます。また、子どもたちはお気に入りの絵本をくり返し読む中で言葉を覚えたり、保育者が目を見て正しい言葉を返しながらやり取りを楽しみの中で自然と言葉に対する感覚を養っています。

天気の良い日には毎日散歩に出かけ、虫や植物を観察し、興味を広げています

子どもたちは晴れた日には毎日散歩に出かけています。戸外遊びでは、遊具や砂場で遊べる公園、草花や虫を多く見る事ができる周辺の散歩など目的に応じて行先を選んでいきます。子どもたちは、桜やタンポポをみつけて教えあったり、ダンゴムシやアリを見つけて観察し散歩から戻って図鑑を広げて確認するなど興味や関心を広げています。0歳児も外気浴をしながら植物に触れるなどして季節を感じています。また、子どもたちは遊びの中で玩具の貸し借りを覚えたり、別のものを探すなど気持ちの折り合いがつけられるように保育者が随時仲立ちしています。

4 評価項目 4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点 (〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目 4 の講評

評価項目 4 の講評を入力してください

行事内容は、日々の保育で遊びながら子ども達が主体的に関われるよう企画しています

行事内容は、保育士が日々の子ども達の性格や好きな遊び、動きなどを見て楽しめるものと考えています。行事に向けての練習や準備等は、日々の保育の中で、遊びながら楽しく取り組めるようにしています。例えば、ゲームや盆踊りを予定した今年度の夏祭りでは、朝の体操で盆踊りの曲を流し、音楽を覚えて楽しめるようにしました。また、行事の由来を絵本などで伝えたり、子どもの日のこいのぼり制作など行事に関連する制作に取り組み、関心を持って行事を楽しみに迎えられるようにしています。

日々の活動の積み重ねを活かし、コロナ禍でも工夫して様々な行事を実施しています

今年度実施した運動会では、子ども達がクレヨンやマーカーを使い個性豊かな国旗を制作しました。0歳児もシールを貼ったり、足形や手形をして完成させています。また、1,2歳児はかけっこや障害物競争で日頃遊んでいる好きな動きなどを取り入れたり、2歳児クラスは円形の布を回転させたり上下に動かす競技に挑戦し息のあったところを全園児や保護者の前で披露しました。その他にも、クリスマス会で楽器を使った演奏や体操を披露するなど、子ども達が日々の遊びの中で行事にむけた活動を楽しんでいる様子が保育日誌等から確認できました。

行事を通して、子どもの成長や楽しむ姿を保護者に知ってもらえるようにしています

園では、子ども達が行事を通して成長する姿や楽しむ様子を保護者に伝える「成長発表会」の場にしたいと考えています。今年度の行事はコロナ禍により、様々な制限がある中、手洗い・消毒・検温・分散など感染症対策を徹底した上で、保護者に園内に入ってもらい行事の様子を見てもらえるようにしました。保護者には、送迎時や連絡帳などを通して子どもが行事に向けた活動をどのように楽しんでいるかを伝えたり、行事内容を事前にポスターや掲示で保護者に伝え、当日を楽しみにしてもらえるように工夫しています。

5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている 評点 (〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
	●あり○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
	評価項目 5 の講評 評価項目 5 の講評を入力してください 日常的に合同保育をしているため、子ども達はどの職員にも慣れ安心して過ごしています 朝は7時30分から9時30分まで合同で過ごし、そのまま異年齢合同で朝の会を行っています。夕方は16時から18時30分まで合同で保育を行い、0歳児は人数が減ってきた時点で加わっています。園では朝の会や食育、体操、行事など日常的に異年齢合同で保育をしているため、子どもたちはどの職員にも慣れており、安心して過ごしています。最後まで残る子ども達は、その時の様子に合わせ、例えば疲れている時には、絵本の読み聞かせをして静かに過ごしたり、身体を動かしたい時には体操遊びをするなどしてお迎えまでの時間を過ごしています。 少人数で普段できない遊びを提供したり、長時間でも快適に過ごせる環境を整えています 子どもが少なくなってきた時間帯では、おもちゃやブロックなど普段遊んでいない玩具を出し、じっくり遊べるように工夫しています。また、少人数のため、子どもにやりたい事をきいて、例えばボール遊びや保育者の側でじっくりおしゃべりするなど、大人数ではできない遊びもしています。また、夕方には水分補給をしたり、エアコンや加湿器、必要に応じて濡れタオルなどを活用し、快適に過ごせる環境を整えています。お迎えにくる保護者とは、保護者の時間の許す限り、ゆっくりと1日の様子等を伝えるようにしています。		
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している 評点 (〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
	●あり○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	●あり○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
	●あり○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当
評価項目 6 の講評 評価項目 6 の講評を入力してください 食事の前には献立を伝え、歌をうたい、楽しい雰囲気の中で野菜から食べ始めています 子ども達は発達に合わせた高さの椅子に座り、足を床につけて正しい姿勢で食事をしています。食事の前には歌を歌ったり、保育士が献立を紹介して楽しく食事ができる雰囲気を作っています。好き嫌いなどで食事が進まない子どもは、一人でも食べ進みが良い子どもと席を近くにすることで、大好きなお友達の影響を受けて食べてもらえるように工夫しています。園では区が推奨している「一口目は野菜から」を方針とし、野菜から食べはじめています。評価者訪問時には0歳児クラスでスープの中に入っている野菜を一口目に食べる様子を見る事ができました。 保護者と連携し、子どもの状態に応じた離乳食やアレルギー除去食を提供しています 献立は区で作成したものを基本としていますが園の調理師と相談し、普段食べ慣れている身近な食材に変更するなど子ども達の様子に合わせて提供しています。離乳食は、家庭での進み具合を確認した上で後期食からスタートし、子どもの食べ具合により具材の大きさや硬さを変更しながら進めています。アレルギーをもつ子どもについては、医師の診断書に基づき、毎月保護者に献立を確認してもらっています。また、アレルギー児専用のトレーや食器を準備し、配膳時や提供時には複数の職員で確認の上、保育者が側で介助や見守りをして誤食防止に努めています。			

	す。 食育計画を作成し、発達に応じた活動により子ども達の興味や関心を広げています クリスマス会の行事食では、主食のご飯をツリー型にしたり、野菜を星形にして目で見て楽しめるように工夫しています。今年度より年間食育計画を作成し、季節の野菜や果物を観賞して絵本と比べたり、玄関に展示した野菜を保育の中で切って断面を確認するなど、見たり、触れたり、においを嗅いだりして興味や関心を広げています。評価者訪問時には給食を早く食べ終わった子ども達が、絵本に描かれた果物を「どうぞ、〇〇です」「種があるからね」と友達に渡す真似をして遊んでいました。こうした場面からも食材に慣れ親しんでいる事がわかります。															
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点 (〇〇〇) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり○なし</td><td>1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり○なし</td><td>2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり○なし</td><td>3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> 評価項目 7 の講評 評価項目 7 の講評を入力してください 日々の保育の中で子ども達が病気やケガに関心を持ち、予防できるよう援助しています 園内では普段よりも薄着で過ごし、毎日検温、手洗い、消毒をして健康に過ごせるようにしています。日常ではマスクの使用や手洗いの大切さを伝えたり、朝の会で「〇〇ちゃんお休みだね」と子ども達から話題が出た時をきっかけに、風邪や熱の話をして健康の大切さを伝えています。また、散歩の時には手を離さない、白線内を歩くなどのルールをくり返し伝えています。日々の遊びでは、体操の動きの中で体幹を鍛えたりバランス感覚を養うほか、防災訓練のごっこ遊びの中で逃げる練習をするなど、身を守る方法を学んでいます。 医療的なケアが必要な子どもについては、嘱託医等と連携し健康状態を把握しています 嘱託医による健康診断を0歳児は年4回、1.2歳児は年2回実施するほか、園内で毎月実施する身体測定により、健康状態や発達状況を把握しています。かかりつけ医が園の嘱託医と同じ園児が多いため、健康診断時には、処方されている目薬や塗り薬の使用方法等について医師から詳しく話を聞く事ができたり、体調面での相談や助言を得る事ができています。障害などを含め常時医療的な配慮が必要な子どもについては、保健センターなどの専門機関と随時電話で情報を共有するなどして連携しています。 日々の健康状態をよく観察するほか、乳幼児突然死症候群の予防に努めています 登園時には保護者から健康状態を聞き取るほか、検温や視診を丁寧におこない子どもの体調変化にすぐに気づけるようにしています。また、同じようなケガが続かないように健康観察カードに留意事項を記載し、職員間で共有の上注意して保育にあたっています。乳幼児突然死症候群を防止するため、0歳児は5分、1.2歳児は10分おきに呼吸やうつぶせ寝になっていないかを保育士が側で見守り確認しています。更に0歳児は肌着の上からお腹にセンサーを付け、二重のチェック体制で防止に努めています。	評価	標準項目		●あり○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	●あり○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	●あり○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当			
評価	標準項目															
●あり○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当														
●あり○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当														
●あり○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当														
8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点 (〇〇〇〇〇) <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり○なし</td><td>1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり○なし</td><td>2. 保護者同士が交流できる機会を設けている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり○なし</td><td>3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり○なし</td><td>4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	●あり○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当	●あり○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当	●あり○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
評価	標準項目															
●あり○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当														
●あり○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当														
●あり○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当														
●あり○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当														

	●あり○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
		評価項目 8 の講評	評価項目 8 の講評を入力してください
保護者の就労事情を事前に把握し、受け入れ時間など柔軟に対応しています 保護者の子育てと就労の両立を援助するため、保育の時間帯や休みの日の受け入れなど、可能な限り柔軟に対応しています。職員は保護者のお迎え時の様子や表情等を見て、悩みや体調の変化に気づき、声かけができるように努めています。また、勤務地が遠いためお迎え時間がかかる事など保護者の就労事情を事前に把握し、子どもの体調変化には早めの連絡を入れたり、他の子から離れた場所で寝かせるなどしてお迎えが待てるよう環境を整えています。 感染症対策を徹底し、保護者同士や職員と交流できる機会をつくっています コロナ禍により懇談会などは実施できていませんが、保護者が参加できる行事の開催や年2回の保護者会により、保護者同士が交流できる機会をつくっています。また、保護者との信頼関係を築くため、送迎時には保護者と丁寧に対話することに努め、悩みや相談をしてもらいやすい雰囲気を作るようにしています。保護者対応については、担任だけに任せるのではなく、園長も定期的に顔を出し保護者に寄り添った対応に努めています。今回の第三者評価利用者調査の設問「職員と信頼関係があると思う」には、回答した全ての保護者が「はい」と答えています。 保護者会参加や園の行事を見てもらうことで保護者と園で子どもの成長を共有しています 現在はコロナ禍により、保育参観は中止ですが、夏まつり、運動会、クリスマス会など保護者参加の行事を実施し、子どもの発達状況や職員の関わり方などを知ってもらえる機会にしています。また、年2回の保護者会では、園長が園の方針として給食や離乳食の進め方を伝えたり、クラス担任がクラスの活動を通して子どもたちが何を目標に取り組み、どんな成果が見られているを知ってもらえるように説明しています。その他にも、園だよりやお知らせを玄関前に掲示し、園の取り組みや子ども達の活動の様子を保護者と共有できるようにしています。			
9	評価項目 9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点 (○○)		
評価		標準項目	
●あり○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○非該当
●あり○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○非該当
		評価項目 9 の講評	評価項目 9 の講評を入力してください
天気の良い日には、0歳児も児童遊園や消防署、大踏切など散歩に出かけています 子どもたちは園外活動として様々な地域の公園に遊びに出かけ、植物に触れたり、働く車を見て楽しんでいます。0歳児も天気の良い日には、消防署に行き訓練の様子を見学したり、大踏切で電車を見るなど様々な体験をしていることが保育日誌により確認できました。また、商店街周辺や公園を散歩する際には、職員が手本となって地域住民や他園児に挨拶を交わしたり、公園内で遊具を共有するなど交流しています。 子ども達は建物内の警備員や商店街の人など職員以外と人と交流する機会があります 園が入っている商業ビルの警備員とは散歩の時など挨拶を交わし、顔なじみの関係を築いています。その他にも、商店街の地域住民や消防署見学の際に会う消防士など子どもたちが職員以外の人と交流する機会があります。また、散歩で出会う地域住民とは小動物を見せてもらうなど交流を深めています。今後、コロナ禍が落ち着いた際には、園の行事に地域住民を招待したり、地域のイベントに園児が参加するなど活動の幅が広がるとなお良いかと思われます。			

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル①	個々の食育目標に基づき食事のマナー等を身につけるほか、食材への関心を広げています	
内容①	年間食育計画に基づき、季節の野菜や果物を観賞して絵本と比べたり、玄関に展示した野菜を保育の中で切って断面を確認するなど興味を広げています。園では区が推奨している「一口目は野菜から」を方針にすると共に、個人案には個々の食育目標を設定し、例えば三食食べができる、苦手な野菜を食べる事ができるなど食事のマナーやルールが身につくよう援助しています。評価者訪問時には、0歳児が一口目をスープの中の野菜から食べている様子や2歳児がお皿に手を添え、肘をつかずに姿勢よく食事をしている場面を見る事ができました。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル②	日々の職員とのコミュニケーションを大切にすることで良好な関係がつけられています	
内容②	園の目指している姿の実現のためには、園長と職員が同じ方向を向き保育に取り組むことが大切と考えています。そのために園長は日々の保育の中での職員との関りを大切にしています。職員とはミーティングなどでの会話を通したコミュニケーションを大切にしています。園は少人数での運営のため、日々の会話による意思疎通や個人面談で職員一人ひとりとよく話し合う事が良好なコミュニケーションづくりに結びついています。職員からは、保育の相談がしやすい、分からない時はすぐ助けを求められるなどの声が寄せられ良好な職員との関りが感じられます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル③	職員の育成は園長による日々の保育やミーティングでのOJT、実務者研修で取り組んでいます	
内容③	園は開設して1年を経過し園長はリーダーシップを発揮し目指している園づくりに取り組んでいます。現在は園長を核に土台づくりに取り組んでいます。園の運営を安定させるためには職員の育成が大切と考え研修にも力をいれています。昨年度はコロナ禍の影響で研修参加に障害もありましたが、夜間開催のwebによる実務者研修を中心に受講しました。受講後には研修報告書やミーティングで研修内容の共有をしました。またOJTやミーティングでの話し合いを通し職員に園長の考えを理解してもらうことも大切と考えて職員の成長を見ながら無理をせず取り組んでいます。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子ども一人ひとりを丁寧に見て、個々の個性や能力を伸ばす保育を行っています
	内容	子どもの状況は担任だけでなく全職員が把握して援助にあたっており、個々の性格や特性を踏まえ、職員間でよく話し合っ保育を進めています。例えば、自身の思い描いた遊びを再現することが上手な子の個人案や保育日誌には、表現を活かした遊びを保育士が提案し、遊びの幅を広げられるよう援助すること等が記載されていました。その他、評価者訪問中、散歩から帰ってきた際や自由遊びなど様々な場面で子ども達が「先生！先生」「園長先生、見て！」と話しかける場面が多くあり、保育者を信頼し安心して自分を表現している事がわかります。
2	タイトル	見学時には保護者一人ひとりのニーズを把握し、丁寧な対応が入園に繋がっています
	内容	見学者の対応は園長が担当し、日程を調整して個別に対応しています。コロナ禍のため、現在は見学時間を夕方に限定しているため、日中の保育の様子を見てもらえないかわりに、夕方の合同保育の様子を見てもらうことで縦割り保育の良さを伝えています。また、見学時のアンケートにより、保護者が保育園に求める事や育児の悩みなどのニーズを把握し、個々に寄り添った対応に努めています。見学時の対応については詳細に記録し、その後問い合わせがあった時にも親子の顔を思い出し対話しています。こうした丁寧な対応がその後の入園申込に繋がっています。
3	タイトル	園長は、保護者会や登降園時の会話などを通し保護者一人ひとりとの関りを大切にしています。
	内容	園では、保育を進めるためには保護者一人ひとりとの関りや結びつきを深めることが大切と考えています。そのために、昨年度はコロナ禍でしたが十分な感染対策をおこない保護者会を実施し保護者の意向を直接確認する場をつくりました。また日々の保育の中でも、園長は保育に参加して子どもたちの状況を把握し、登降園時の保護者との会話や保護者会、個人面談で伝えるなど、積極的に保護者との関りを大切にしたい取り組みを進めたことで今回の利用者アンケートでは、この園を選んでよかった、日々感謝していますなどの声が寄せられました。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	新人職員や経験の浅い職員が現場で活用できるマニュアル類を整備すると良いかと思われます
	内容	園では区や姉妹園が作成したマニュアルを含め基本的なマニュアル類は常備していますが、園独自のものは少なく、新人職員や経験の浅い職員が多い園の現状を踏まえると、保育業務に直接関わるマニュアル類の更なる整備が必要かと思われます。現在、定期的実施している職員会議の議事録によると、園長が記録の書き方や水分補給の取り方、早番・遅番の業務等について伝え、職員間で共有していることがわかります。今後はこうした内容についてもマニュアルとしてまとめ、新人職員が現場で活用できるようにするとお良いかと思われます。

2	タイトル	園に想定されるリスクに対して各々回避策は講じられていますが総合的な保育事業継続の視点から検討することが望まれます
	内容	低年齢児対象の園として園児事故を最優先にしてリスクの低減に取り組んでいます。散歩中の人数確認、うつぶせ寝事故に対し更なる見守り、感染症対策では玄関での受け入れや健康観察カードの記帳をしています。園は堅固な建物・警備の中ですが避難訓練・不審者訓練は確実に実施しています。定員未達を保育事業継続のリスクと考え入園者の増加を目標に見学者に対する丁寧な説明も心がけています。今想定されるリスクについては、各々回避策は実施されていますが、園の土台作りが一段落の後には総合的なBCPを策定し職員間で共有することが望まれます。
3	タイトル	保育の質や人材確保、安全管理などの施策を検討した上で、中長期計画として文書化し関係者が共有することを期待します
	内容	姉妹園との安定した園運営を目指して開所し土台作り2年目の経過は順調です。すでに初年度に中長期の目標として園児の入所率向上や数値的な損益計画書は作成しました。現在の見通しとしては、初年度の入所率は低かったものの、今年度以降は進級児増があり園児数を確保して安定した運営が見込めるとしています。しかし将来のあるべき園運営には保育の質向上や、人材確保、安全管理、地域貢献などの各分野に課題が存在します。各課題に対する施策を十分検討した上で中長期計画として文書化し多くの園関係者に共有してもらうことを期待します。